

図書館だより



- 大活字本をご利用ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 図書館と学校等との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2~3
- 講演会レポート「かこさとし 創作の原点」・・・・・・・・・・P4



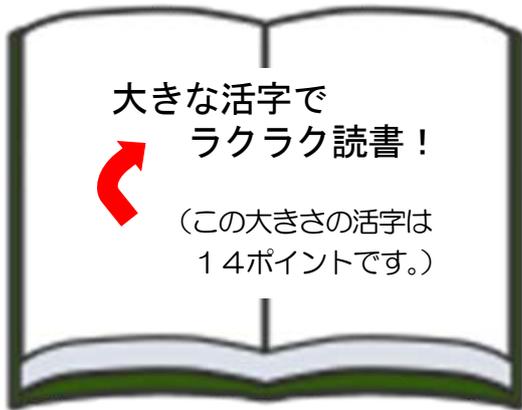
ふじさわ

大活字本をご利用ください

「本は読みたいんだけど、小さい文字が読みづらくなってしまって…」という声をよく聞きます。

藤沢市の図書館には、活字が見えづらい、読みにくいという方にも本を読んでもらえるように大きな活字で製作された大活字本があります。2018年2月末日現在、小説・エッセイ等2,000冊以上の大活字本を所蔵しています。ぜひご利用ください。

ご希望の資料が見つからないときは、お気軽にカウンターでおたずねください。



辻堂市民図書館
大活字本書架



湘南大庭市民図書館 大活字本書架



南市民図書館 ミニ展示
(2018年4月8日まで)



総合市民図書館 大活字本書架

※大活字本では、12ポイント~22ポイントの見やすい書体が採用されています。



【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028) 湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)

【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939) 片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687) 藤沢 (Tel.28-6895) 鶴沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



(携帯版)



図書館と学校等との連携



藤沢市の図書館では、藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、『すべての子どもが本に親しむことができるまち』を目指し、学校や子どもに関わる施設等と連携し事業を行っています。平成29年度に実施した連携事業の一部をご紹介します。

★中学生の職場体験

中学2年生の生徒に、カウンターや回送業務、本の装備やPOP作成、おはなし会参加などを体験してもらいました。中学生から、「本を通して誰かを支えられる仕事」「人と本とを結ぶためにある」と、図書館の大切な役割を理解した感想が寄せられました。



★大学生の単位取得実習

司書養成課程科目の図書館実習や、ボランティア活動単位を取得するための社会実習を受け入れました。地域の様々な利用者へ、多様なサービスを提供する公立図書館業務を通して、図書館の実態を学ぶことができたようです。

★高校生のインターンシップ

高校1,2年生の学生に図書館での様々な作業を体験してもらいました。将来の仕事や生き方や、異世代間も含めたコミュニケーション、さらに自分の適性について考える機会となったようです。



★保育園のおはなし会

月に一回、年長クラスの子どもたちが図書館に来館し、おともだちと一緒におはなしを聞いたり、手遊びをしたり、絵本を読んでもらったりして、おはなし会を楽しみました。また、帰り際には、一人ずつカウンターで本を借りる体験もしました。



★先生方の社会体験研修

教職員の社会体験研修を受け入れました。図書館の機能や、学校との連携内容について知ってもらい、図書館の業務や多様なサービスを体験してもらう中から図書館への理解を深めてもらいました。研修後には、図書館を利用した先生方の研究活動へつながることもあったようです。



★小学生の施設見学・利用ガイダンス

小学2,3年生の子どもたちが、図書館の使い方や図書館マナー、本のラベルや並び方について学習しました。また、カウンター、児童図書、一般図書、新聞、CDやDVD等の各コーナーや、保存庫など日頃見られないところを見学しました。自由読書や図書館員によるおはなし会も楽しみました。



「かこさとし 創作の原点」



講演会
レポート

©かこさとし1967

講師：鈴木 ^{すずき}万里 ^{まり}氏（加古総合研究所）

2018年2月24日（土曜日） 午後2時から3時30分まで
総合市民図書館 2階ホール

19歳で日本の敗戦を経験し、大人の責任を痛感したかこさとしさんは、未来を生きる子どもたちのために何か役に立つことをしたいと絵本作家の道に進まれました。

「子どもたちが僕の先生」とおっしゃるかこさんが、どんな子ども時代を過ごし、どのようにして子どもたちを知り、どう作品に結びついたのかなど、かこさんの創作の原点について、ご長女の鈴木万里さんにお話をうかがいました。

当日は80名の参加者があり、デビュー前のかこさんや紙芝居原画などの貴重な写真を見ながら熱心に聞き入っていました。

かこさんの子ども時代

福井県武生市（現、越前市）に生まれる。
豊かな自然の中で、トンボを追いかけながら、観察の目を養う。
また、遊びの楽しさ、大切さを身をもって知る。

セツルメントの 子どもたちとの出会い

遊びの導入としての、紙芝居作りなどに取り組む。
『どろぼうがっこう』『あおいめ くろいめ ちゃいろのめ』など、子どもたちとの遊びの中から生まれた作品も多数。

講演会で紹介された主な著作

『だむのおじさんたち』福音館書店
『子どもたちへ、今こそ伝える戦争』講談社
『こどものとうひょう おとなのせんきょ』
復刊ドットコム
『遊びの四季』じゃこめてい出版
『過去六年間を顧みて』偕成社
☆小学校6年生の時に描かれた画文集が本になりました。
2018年3月 発売

*セツルメント…労働者の人々が多く住む区域に定住し、住民と触れ合いながらその生活の向上に努める社会運動。



〈編集後記〉

春はスタートの季節ですね。
図書館には、新生活に役立つ本もいろいろあります。
爽やかな風を感じ散歩がてら、ぜひ図書館にお立ち寄りください。
—発行— 藤沢市総合市民図書館 藤沢市湘南台7-18-2 TEL0466-43-1111

